

南会津地域感染症通信 7月号

調査対象期間：2017年第22週～第26週（5/29～7/2）

平成29年7月7日

福島県南会津保健所



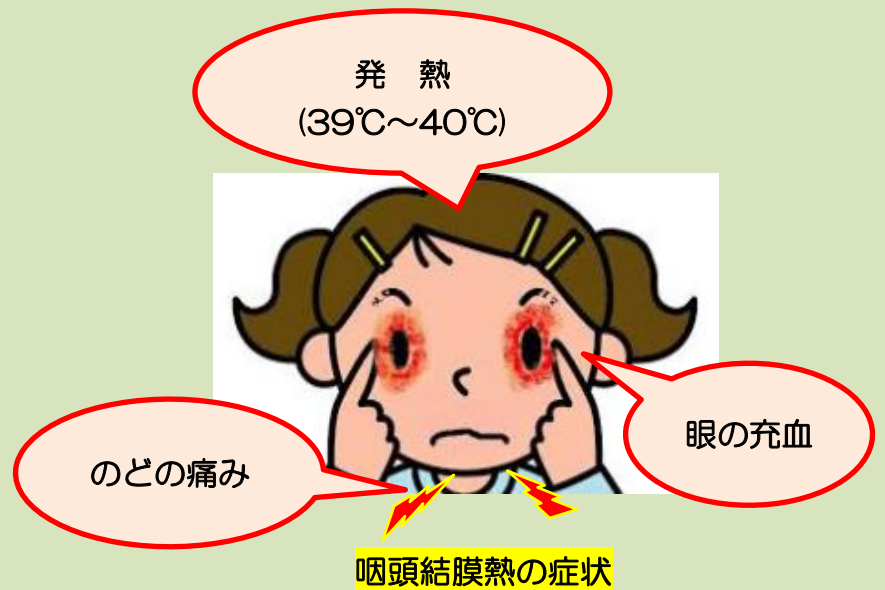
蒸し暑い日が続いています。高温多湿の環境では、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調節がうまくできなくなり、熱中症の危険性が高まります。こまめな水分（塩分）補給と暑さ対策で熱中症を予防し、また、規則正しい生活とバランスの良い食事をこころがけ、この夏も元気に過ごしましょう！

—感染症報告の状況— ※南会津地域の指定医療機関（2か所）からの報告をもとに作成しています。

	22週	23週	24週	25週	26週	南会津の状況	県内の状況（増減）
咽頭結膜熱（プール熱）	0	0	2	1	4	流行	流行（→）
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌感染症）	1	1	0	2	3	小流行	流行（↓）
おたふく風邪	2	1	0	2	0		一部流行（↓）
インフルエンザ（B型）	5	4	2	1	0		（非流行期）

★ 咽頭結膜熱が流行中 ★

三大夏かぜのひとつ、**咽頭結膜熱**の流行が続いています。原因となる“アデノウイルス”は非常に感染力が強いため患者との直接的な接触だけでなく、タオルなど、共用した物品を介して間接的に感染することもあります。別名“プール熱”とも言われるため、プールに入ることによって感染するイメージもあるかもしれませんが、きちんと塩素消毒されたプールでは、ほとんど感染しません。予防には、**手指を清潔に保つことが最も重要**です。流水・石けんを使用し、指や爪の間も丁寧に洗いましょう。また、タオル等の共用は避けましょう。



咽頭結膜熱の症状

ご存じですか？ 三大夏かぜ NO.2

手足口病

- 【原因】 エンテロウイルス
- 【症状】 手足や口の中に水疱性発疹ができる、患者の約3割程度に発熱がみられる
- 【感染経路】 くしゃみなどの飛沫感染、患者との接触
- 【対策】 手洗い、手指消毒やうがい



ヘルパンギーナ

- 【原因】 エンテロウイルス
- 【症状】 38°C～40°Cの発熱、のどの痛み・水疱
- 【感染経路】 くしゃみなどの飛沫感染、患者との接触
- 【対策】 手洗い、手指消毒やうがい

手洗いのポイント♪

流水・石けんを使う

指の間や爪の間、手首もしっかりと！

タオルの共用は避けましょう！

7/24～7/30は「肝臓週間」です！！

早期発見・早期治療のために

肝炎ウイルス検査を受けましょう！！

ウイルス性肝炎は、肝炎ウイルスの感染により肝臓の細胞が壊れていく病気です。

国内最大級の感染症と言われ、**日本人の約100人に1人が感染していると推計**されています。

肝臓は「沈黙の臓器」と言われ、自覚症状が現れにくく、**気が付いたときには肝硬変や肝がん**など命に関わる病気になっていることが多いのです。

肝炎ウイルスの感染を早期に発見し、早期に治療すれば、重症化を防ぐことができます。

県保健所や指定の医療機関で検査を受けることができますので、まずはお気軽にご相談ください。

—南会津保健所 医療薬事課—

検査日：毎週 火曜日 9:00～10:30

第1・3 月曜日 17:15～20:00

電話：0241-62-1156

※検査を受けるためには**必ず事前予約が必要**です。